



「地域と学校の連携・協働」関係者等研修

令和元年11月1日(金) 熊本県庁 本館 地下大会議室にて

社会に開かれた教育課程の実現に向けてコミュニティ・スクール(CS)と地域

学校協働活動の一体的な推進について研修しました。

参加者

・地域学校協働活動推進員等・学校運営協議会委員、CSディレクター・教職員(地域連携担当職員等)・各市町村教育委員会担当者(社会教育主管課及び学校教育主管課)・県統括コーディネーター及び各教育事務所社会教育主事、CS担当指導主事・地域学校協働活動関係者(各事業関係者、公民館関係者及び社会教育委員)等

総勢 295名



学校運営協議会の様子と地域 学校協働活動へのつなぎ方を シミュレーションしました。

熊本県では、コミュニティ・スクールと 地域学校協働活動の一体的な取組を推進 しています!!

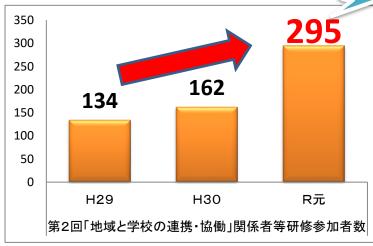


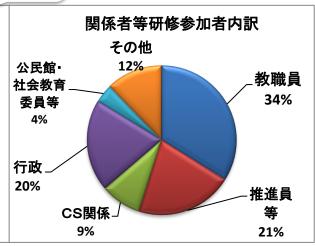
1 参加者数 295名

2 参加者数の推移(3年間)



3 参加者の内訳





4 参加者の主な感想

- 学校だけではできることに限界がある。五者連携でやっていく 必要があると感じた。
- 分かりやすくインパクトに残った。
- ・自分の校区でできそうなことや必要性を考えることができた。
- 初めて学校運営協議会の担当となり、どのように進めていこうかと不安もあったが、これからを担う子供たちのために今日学んだことを生かしていきたい。
- 負担感のない実りあるCSの在り方を模索したい。
- ・新しい研修スタイルで新鮮だった。
- ・初めて参加した。教職員もこの地域と学校の連携方法や仕組み等を理解すれば、もっと 互いに有用なことがあるだろうと思った。
- ・今後、教職員への理解と実践の浸透をどのようにさせていくかが最優先課題であると考える。
- ・充実した研修で、もっと詳しく実践の内容を聞きたいと思える内容だった。一歩一歩、 そして、10人より100人の参加を目標に積み重ねていきたい。
- ・他管内の方と協議ができ、うらやましくもあり、勉強にもなり、刺激になった。
- 演習は分かりやすかった。やっぱり社会教育主事の方々だなあと思って感心した。
- ・現在の熊本県の状況と「地域と学校の連携・協働」に向けた熱意が感じられた。
- ・県内多くの市町村でCSがスタートしています。しかし、どうすれば効果的な推進ができるのかが各教育委員会でも学校でも悩みです。
- ・コーディネーターの役割が非常に大きいと感じる。
- ・地域コーディネーターがいることで、学校が社会に開かれる。また、子供たちが地域の 人とつながり、先生方の負担が減るなど、数多くの利点があることを改めて実感した。 来年度から、コーディネーターが配置される予定なので、今日学んだことをしっかり復 講し、活かしていきたい。

地域

家庭

- ・「地域と学校の連携・協働」の必要性がよく分かった。心に残ったのが、「五者連携」という言葉です。子供が地域の中で主体的に活動する取組が築かれるよう力を注ぎたいと思った。
- ・事例をたくさん聞くことができ良かった。予算等知りたい。
- ・ボランティアの方々への連絡、募集をメールでされていたことを今後活用したい。
- ・大坪先生の話をもっと時間をとって聞きたかった。
- 地域学校協働活動推進員の役割が具体的に分かったような気がした。活動事例がとても 参考になった。
- ・運営協議会やコーディネーター会議のシミュレーションはよく分かりました。何年も前にやって欲しかった。
- ・グループでの協議が一番楽しかった。他の地区の話が聞けて参考になった。まだまだな ので、これからがんばりたい。演習の演技も楽しかった。演技力の高さに驚いた。



- ・楽しかった。事例をもとに、いろいろな立場からの意見が出ていて参考になった。協議 も楽しく、他の市町村からの「目からうろこ」のように情報をいただいた。
- CSと協働活動の関係性がよく分かった。DVD化してください。
- ・今や社会問題となっていることを、この協働活動で求められているのかと少し不安になった。
- ・事務所の先生方の熱演が良かった。地域学校協働活動推進員の動き(動き、役目)がは っきりしていて、とても分かりやすかった。
- 演習により、今後の目指すべき方向性を目と耳で確認できた。感謝します。
- ・CSで熟議をしますが、何ができるかを考えることがほとんどで、次どう実行するかを話し合うことがなく、何のための<mark>熟議</mark>なのかを疑問に思っていた。形になるよう行動が必要だと思った。
- この研修内容は、現場の先生方にも聞いてほしかったです。
- ・私は町で一人の推進員なので、他の地域の方と情報交換をしたい。
- ・子育てを地域でと言われるが、親の存在感がないので、親あってこその子育てだと思う。 もっと、親を引き出してほしいと思う。親の存在が薄いと感じた。
- ・最後に研修のまとめをプレゼンされたのは、自分自身の振り返りになり良かった。
- これから自分が何をしたいか、何をすべきかを考える良い研修だった。
- 30年後のたくさんの課題をいただいたことが、良かったと思う。

行政

- ・各々の立場での役割や進め方等を分けて説明などをしたらどうか と思った。行政、学校、それぞれの立場で必要な実践的な研修の 機会があればうれしい。
- ・担当者として、どのように進めていけばいいのか悩む事業の一つだったが、明日から子 供たちのためにがんばろうと思える研修だった。主催者側の工夫をものすごく感じられ て感動した。
- ・学校の「地域とともにある学校」についての理解や意識改革がどうなっているのか。そ の本気度が今一つ伝わってこない。
- ・担当者として、どのように協議を進めていけばいいのか模索していたので、今後の足掛かりとなりました。映像として保存してあるということで、別の担当者になってもスムーズにイメージしやすいのかなと思った。
- ・小中高の取組が素晴らしい。分かりやすく体験をもとにイメージのしやすい講話であった。
- ・企業の事業に対する関わり方の話は参考になった。
- 各地の実践はとても関心を持った。
- ・地域学校協働活動で地域の方が教育の担い手になることが未来の地域の活性化につながる、必要になるからという言葉が印象に残った。単に丸投げではなく、Win Win の関係になることが大事。